

令和2年度 文京区立小日向台町小学校 授業改善推進プラン

第4学年

	指導上の課題	指導の在り方	授業改善の視点
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文学的文章において登場人物の心情、場面の様子を想像しながら読むことに課題がある。 ・ 説明的文章の中心を意識しながら、読むことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の言葉一つ一つに着目したり、自分に置き換えながら考えたりして読むことができるよう指導する必要がある。 ・ 要旨と要点を意識させて中心をとらえ、読ませる指導が大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の心情や情景を想像させるために、言葉一つ一つに着目させる。また、指示語が示す内容が読み取ることができるように確認していく。 ・ 大切なところにサイドラインを引かせたり、要点をまとめたりして、形式段落ごとに区別できるような学習をして意識させる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラフや資料の読み取りや活用する力に課題がある。 ・ 学習したことを生活に関連付けて考える力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラフや資料を読み取る力を付ける指導が大切である。 ・ 社会的事象に関心をもち、学習したことを社会生活に生かそうとする社会的な見方・考え方を育てる指導が大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラフや資料の見方・考え方を捉えられるよう、読み取らせる指導を充実させる。また、様々な資料の中から自分に必要な情報を収集、選択・判断・活用・発表する力を身に付けられる指導の工夫を行う。 ・ 具体的な資料を提示したり、体験や社会科見学の機会を設けたりし、生活と結びつけることができるようにする。分かったことを文章でまとめたり、資料を用いて説明したり話し合ったりする活動を取り入れ、よりよい社会について考える指導を充実させる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分度器、三角定規、コンパスを用いて、四角形をかく学習に課題がある。 ・ 文章問題の題意を理解し、問題解決することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図形の性質や構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、かき方を確認し、正確にかけるようにする指導が大切である。 ・ 問題で何を問われているかを文章からしっかりと捉える力を身に付ける指導が大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図形の定義を理解できるようにし、性質や構成する要素及びそれらの位置関係を理解してかくことができるように指導する。 ・ かく手順を示し、必要な道具を正確に使って、順序良くかくことができるように指導する。 ・ 図や数直線を提示し、分かっていることや求めることを捉えるために、手がかりになる言葉を押さえるようにする。 ・ 集団で考えを交流する機会をつくり、友達の考えを知り、自分の理解を深める。 ・ 東京ベーシックドリルを活用し、習熟を図る。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の事物・現象から見いだした問題について、根拠のある予想や仮説を発想することに課題がある。 ・ 観察・実験などに関する基本的な技能に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既習の内容や生活経験をもとに、予想や仮説を発想させることが大切である。 ・ 観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けさせられるようにする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既習の内容や生活経験を想起させることで、根拠のある予想や仮説を発想することができるようにする。 ・ 視聴覚機器を活用し、観察・実験の方法を丁寧に指導する。

音 楽	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの音色や響きを意識しながら演奏する様子が多く見られるが、基本的なタンギングの奏法技術に個人差がある。 ・鑑賞に関しては、音楽を形づくっている要素の表れ方に関心のある児童が多いが、楽曲から感じ取ったことを言葉で表現することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・易しいリズムや旋律の演奏から始めて、継続的に取り組むようにすることや、教師や友達の演奏を聴いたり見たりすることで、楽器の適切な演奏の仕方が身に付くようにすることが大切である。 ・曲の雰囲気や表情とその移り変わりを感じ取って聴き、感じ取ったことを言葉で表現する経験を重ねることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タンギングの奏法を確実に習得させるため、易しいリズムや旋律の演奏を常時活動として取り入れる。少人数やリレー方式で演奏する活動を行い、自分の音をよく聴けるようにするとともに、友達のよいところを認め合いながら学習に取り組めるようにする。 ・曲の雰囲気や表情とその移り変わりなど、感じ取ったことを言葉にする活動を多く取り入れる。個人で考える時間や友達と話し合う時間を十分に確保し、考えを共有することで、感じ取ったことを言葉で表現する際には多様な表現があることに気付かせる。
図 工	<ul style="list-style-type: none"> ・何事にも興味をもって、楽しくのびのびと自分の思いを作品に表すことができる児童が多い。一方、発想に行き詰まったり、思い通りに表せなかったりする児童への手立てや支援が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な材料に触れ、手を働かせて使ったり、表し方を考えたりして表現できるような活動の場面の工夫や、学年に応じた材料や用具を適切に扱うよう題材を設定することが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料や扱いやすい用具を使う活動から、表し方を考えて表現する活動場面を計画的に取り入れる。また、扱う材料や道具に応じた技術を身に付けられるよう、全体に向けてポイントを絞った指導をする。また、個別に教師の言葉かけを行い、全員がスムーズに作業を進められるようにする。
体 育	<ul style="list-style-type: none"> ・回転したり上体を支持したりすることに大きな差があることが課題である。 ・体を巧みに操作することに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット、鉄棒、跳び箱運動の学習を通し、運動する楽しさを味わいながら、基本的な技能を身に付ける必要がある。 ・様々な領域で跳ぶ運動、投げる運動などを取り入れていく指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードや掲示資料を工夫し、技能のポイントを示す。 ・主体的に学習に取り組むことができるように学習の見通しをもたせる。また、自己の課題の見付け方や解決の仕方を明確に示していく。 ・遠くへ跳ぶ、高く跳ぶ、連続して跳ぶ、投げるなどの運動を意図的に取り入れる。 ・コーディネーショントレーニングを取り入れ、巧みな動きが身に付くように工夫する。
総 合	<ul style="list-style-type: none"> ・調べる力や、資料を収集する力に差があることが課題である。 ・学習課題を決めて、調べたことを自分の言葉でまとめることに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集の仕方を身に付けさせ、課題解決に合った方法で調べることができるように指導していくことが必要である。 ・調べたことを自分の考えや生活と結び付けて考え、まとめられるよう、考えを整理・分析したり、まとめたことを表現したりする活動を取り入れることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が学習に関連する書物を精選し、学校や地域の図書館の有効活用の仕方を指導する。また、情報を収集・整理、発信する学習活動を取り入れる。 ・情報収集をするためにパソコン等の基本操作を習得できるようにする。 ・課題に対する考えを深めさせるために、まとめ・表現をする活動を積極的に取り入れる。各教科や総合的な時間で学んだことが生かされるよう、年間指導計画と関連付け、言語による理解が定着するよう、繰り返し指導を行う。

<p>外国語活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的にコミュニケーションをとる態度に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手へ配慮し、距離を確保しながら、主体的にコミュニケーションを図ることができるようにすることが大切である。 ・本時で扱う会話表現が、日常のどの場面で使うのかが分かるように、授業の工夫をすることが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイティブスピーカーの音声を聞かせ、復唱したり対話したりする機会を多く設ける。 ・英語を用いた言語活動を通して、友達やALTとともに体験的に楽しみながらコミュニケーションが図れるようにする。学習のめあてを明確にし、歌やチャンツ、アクティビティで動作や交流等を取り入れながら段階的に活動を進める。学習のめあて等の振り返りを毎時間行い、日常や次時への意欲に活かす。 ・会話表現を使ってアクティビティを行うときは、相手意識や目的意識をもたせ、日常の会話表現に近い状況を設定して行う。
<p>道徳</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を多面的・多角的に考え、自分なりに深めていくことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の多様な考えを全体で共有しながら、自己の考えを深める授業展開をすることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の多様な考えや感じ方を板書し、たくさん接する機会を多く作る。多面的・多角的な考えから感じたことをワークシートに書くようにする。道徳的な価値に迫ることで自分の考えをさらに深められるようにする。